＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	『安心・快適』を見守る岡山の家
グループの名称	おかやま『安心・快適』住宅研究会
直近採択グループ番号	--

（グループ代表者）

代表者名	高山　晃一　代表者印
代表者所属先	高山産業株式会社
代表者所在地	岡山県岡山市北区清輝橋1-8-21
代表者電話番号	086-223-3183

（グループ事務局）

事務局事業者名	高山産業株式会社
事務局担当者名	高山　眞光　印
事務局郵便番号	700-0861
事務局所在地	岡山県岡山市北区清輝橋1-8-21
事務局電話番号	086-223-3183
事務局FAX	086-233-0959
事務局担当者E-mail	masamitsu-t@takayamagas.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	『安心・快適』を見守る岡山の家
２．グループの名称(必須)	おかやま『安心・快適』住宅研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	--
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	岡山県・岡山県に隣接する県
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	高山　晃一
７．グループ代表者の所属先(必須)	高山産業株式会社
８．グループ代表者所在地(必須)	岡山県岡山市北区清輝橋1-8-21
９．グループ代表者電話番号(必須)	086-223-3183
１０．グループ事務局事業者名(必須)	高山産業株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	高山　眞光
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	700-0861
１３．グループ事務局所在地(必須)	岡山県岡山市北区清輝橋1-8-21
１４．グループ事務局電話番号(必須)	086-223-3183
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	086-233-0959
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	masamitsu-t@takayamagas.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	海外の原木供給事業者より直接供給を行う場合等は、原木供給の構成員を含まない□
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	2	海外事業者から製材品を調達する場合があり、製材事業者名が特定できないため、確認念書の取得ができない。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	商流のみの流通事業者で、証明制度等の認定のない事業者・グループ構成員でない事業者の場合がある。
Ⅳ．プレカット	4	プレカット事業者を経由しない場合がある。製材事業者または流通事業者から直接仕入れを行う場合がある
Ⅴ．設計	1	自社で設計を行う施工構成員は、設計グループの構成員に含まない場合がある
Ⅵ．施工	19	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		18	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	18	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		12	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	12	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	7	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		16	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	16	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		9	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	9	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	1	棟	
			180	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	1	棟	
			180	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	申請が確実な物件に対し各施工構成員に均等に配分する。採択戸数が申請確実な物件数より少ない場合は、会の主旨に添った住宅を施工する工務店に優先配分する。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸	
	優良建築物型						
	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	戸	
	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外の原木供給事業者より直接供給を行う場合等は、原木供給の構成員を含まない□

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
33	Ⅰ － 2	院庄林業 株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
33	Ⅰ － 22	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1番地	0867-42-0602
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外事業者から製材品を調達する場合があり、製材事業者名が特定できないため、確認念書の取得ができない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
33	Ⅱ － 2	院庄林業 株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
33	Ⅱ － 6	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
商流のみの流通事業者で、証明制度等の認定のない事業者・グループ構成員でない事業者の場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
33	Ⅲ － 2	院庄林業 株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
33	Ⅲ － 4	山佐産業株式会社		700-0942	岡山県岡山市南区豊成3-15-25	086-263-5270
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
プレカット事業者を経由しない場合がある。製材事業者または流通事業者から直接仕入れを行う場合がある

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
33	Ⅳ － 2	院庄林業　株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
33	Ⅳ － 4	山佐産業株式会社		700-0942	岡山県岡山市南区豊成3-15-25	086-263-5270
33	Ⅳ － 6	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
33	Ⅳ － 18	株式会社ヤマホン		706-0001	岡山県玉野市田井３－２０－２８	0863-31-1166
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
自社で設計を行う施工構成員は、設計グループの構成員に含まない場合がある

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
33	Ｖ － 1	石川泰之建築設計室		701-0304	岡山県都窪郡早島町早島1813-1	086-441-1412	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							19	○	○
33	Ⅵ - 1		石川泰之建築設計室		701-0304	岡山県都窪郡早島町早島1813-1	086-441-1412	○	
33	Ⅵ - 5		有限会社松永建材店		708-0015	岡山県津山市神戸67	0868-28-1234		○
33	Ⅵ - 7	78577	株式会社イマジン		708-1311	岡山県勝田郡奈義町久常294番地	0868-36-7111	○	
33	Ⅵ - 8		株式会社アイアールホーム		709-0833	岡山県赤磐市熊崎194-1	086-955-8333		○
33	Ⅵ - 9	78621	株式会社兵恵建設		708-0006	岡山県津山市小田中2270番地の2	0868-24-5772		○
33	Ⅵ - 10		有限会社三榮建装		708-1323	岡山県勝田郡奈義町豊沢295	0868-36-2222	○	
33	Ⅵ - 11	78702	有限会社石井建設		709-0224	岡山県備前市吉永町吉永中483－1	0869-84-2788	○	
33	Ⅵ - 12		株式会社横谷工務店		709-0525	岡山県和気郡和気町宇生278番地	0869-88-1505	○	
33	Ⅵ - 13		建築工房森岡		719-3153	岡山県真庭市栗原1052-1	0867-54-0153	○	
33	Ⅵ - 14		有限会社萩原住研		708-0006	岡山県津山市小田中2218	0868-22-7649		○
33	Ⅵ - 15		株式会社忠政工務店		708-1113	岡山県津山市田熊1755-2	0868-29-0472	○	
33	Ⅵ - 16	78692	有限会社景山建設		709-3122	岡山県岡山市北区建部町吉田758番地	086-722-1191	○	
33	Ⅵ - 17		山陽地所　株式会社		700-0904	岡山県岡山市北区柳町2－4－23	086-232-3831	○	
33	Ⅵ - 19	78697	有限会社桜井工務店		705-0002	岡山県備前市浦伊部970－2	0869-64-2040	○	
33	Ⅵ - 20		有限会社森岡建設		719-3153	岡山県真庭市栗原1440-3	0867-54-0712	○	
33	Ⅵ - 21		建築工房カナヤ株式会社		708-0001	岡山県津山市小原311-5	0868-24-0118	○	
33	Ⅵ - 23	81060	院庄林業住宅株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-7111		○
33	Ⅵ - 24		まこと工務店		708-0807	岡山県津山市下横野2037	0868-27-0608		○
33	Ⅵ - 25		三宅建築		706-0014	岡山県玉野市玉原1-11-26	0863-31-7124	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
33	Ⅵ－ 1		石川泰之建築設計室	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 5		有限会社松永建材店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 7	78577	株式会社イマジン	1 戸	3 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 8		株式会社アイアールホーム	21 戸	24 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 9	78621	株式会社兵恵建設	6 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
33	Ⅵ－ 10		有限会社三榮建装	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 11	78702	有限会社石井建設	1 戸	3 戸	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
33	Ⅵ－ 12		株式会社横谷工務店	2 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 13		建築工房森岡	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 14		有限会社萩原住研	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 15		株式会社忠政工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 16	78692	有限会社景山建設	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 17		山陽地所　株式会社	29 戸	30 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	3 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
33	Ⅵ－ 19	78697	有限会社桜井工務店	2 戸	2 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
33	Ⅵ－ 20		有限会社森岡建設	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 21		建築工房カナヤ株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 23	81060	院庄林業住宅株式会社	5 戸	5 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 24		まこと工務店	2 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ－ 25		三宅建築	2 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
33	Ⅶ － 26	高山産業株式会社		700-0861	岡山県岡山市北区清輝橋1-8-21	086-223-3183
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）『安心・快適』を見守る岡山の家	（地域型住宅供給対象地域）岡山県・岡山県に隣接する県
２．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）おかやま『安心・快適』住宅研究会	（結成年）2016　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	－－	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	【快適を生むルール】 ●完了実績報告までに、ゼロエネルギー住宅においてはBELS「ZEHマーク」、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅においてはBELS★★★以上の取得を共通ルールとする。 【安心を生む共通ルール】 ●レイリー波またはスウェーデン式サウンディング試験の地盤調査を実施し、適切な基礎設計を行う。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	【和のすまいの伝承】 ●和風住宅の場合は、岡山の住文化を伝え、「和のすまい」の良さを拡げるため下記のいずれかを採用する。①0.6m以上の軒、②湿式壁（漆喰や珪藻土等）、③畳、④障子、⑤襖（戸襖含む）、⑥床の間、⑦縁側（濡れ縁やウッドデッキを含む）、 ⑧坪庭 ●接道側にシンボルツリーを植える（施主の要望を優先するため必ずしも必須ではない	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	【大工技術の伝承】 ●職人技術を活かし技術の継承を推進していくため、極力、地元の大工等の職人による家づくりをする。 【森林資源の活用を促す取り組み】 ●以下の取り組みを提案する。①柱または梁の一部を現しとする、②外壁に板壁を採用する、③濡れ縁やウッドデッキを設置する、④和紙を使用する 【地域に溶け込むデザイン】 ●外構を計画する場合は、オープン外構を心掛け、樹木を植え、地域の景観に配慮する。 ●舗装材は透水性のあるものを提案する	○
④ ①～③の背景	●今後、南海トラフ地震を起点とするM8～9クラスの大地震の発生確率は10年以内に20%～30%、さらに50年以内に発生する確率は90%と言われている。 ●施主が末永く、『安心・快適』な生活が出来るように、省エネ性能の確保だけではなく、長く心地よく住める家づくり、地震が起きてもライフラインを確保できる家づくりを提案していく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地元の伝統産業や、もの作りを家づくりに活かし、後世に伝統を伝えていく一助とするため、①備前焼の置物（花瓶や小物など用途を問わない）、②デニム（カーテン、のれん、テーブルマット）、③岡山県内に工房を構える手造り家具（大きさ、用途を問わない）のうち、1点以上を設置する	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：	在来工法において柱は3.5寸角以上を使用	◎
	①-2 使用建材の統一	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：		
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：	施主の承諾を得た場合、快適性のモニタリングのためHEMSに対応した温湿度センサーを3か所設置。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：		
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：		
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：		
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：	グループ事務局に検討委員会を設置し、定期的に会合を開き検討を行う	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない	□ ある →	内容：		
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：	第三者認証（BELSの認証）の取得を目指し、グループの信頼性を向上させる	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない	□ ある →	内容：		
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：	施主の同意が得られれば社外の住宅履歴情報サービス（リビングベルを推奨）を活用する。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：		
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：	技術講習会などの情報があれば、事務局より構成員に情報を流し、技能を上げ、処遇が向上するような取り組みを行う	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：	社会保険の未加入者があれば加入を促す。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	定期的に開催する会合の中で「ひやり・はっと」事象の発表を行い、安全対策を共有する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）『安心・快適』を見守る岡山の家	（地域型住宅供給対象地域）岡山県・岡山県に隣接する県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）おかやま『安心・快適』住宅研究会	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	--	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報の蓄積は、第三者機関である住宅履歴登録サービス機関を活用する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：リビングベルまたはグループ内の施工構成員が使い慣れている第三者機関を活用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴登録サービス機関への物件申込書の写しを事務局に提出することで確認する。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：維持管理計画書に基づく点検チェックシートで、定期点検を実施する。第三者点検サービス機関の利用も可能とする。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：廃業の施工工務店が発生した場合は施工工務店を事務局にて検討して、お施主様に紹介する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：第三者機関である住宅履歴登録サービス機関に住宅履歴情報の蓄積を行った場合は、グループ事務局に届け出る	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ構成員で開催するイベントに於いて木工体験コーナーを開催する	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：事務局が開催する展示会、その他イベントで実施している。	○
	④	維持管理委員会等の設置	■ ない	□ ある →	内容：	
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：施工構成員が倒産あるいは解散等により、維持管理を行うことができなくなった場合、最寄りの施工構成員が引継ぎを行う	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：未経験工務店が受注した場合、事務局が個別にサポートする。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ事務局が作成した「現場チェックシート」で、着工前、断熱材施工後、竣工後における品質を確認する	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：着工前、断熱材施工後、竣工後の各段階で「現場チェックシート」をグループ事務局に提出し品質を確認する	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：交付決定戸数以上の供給を目指す	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：未経験工務店に対して建築士を紹介し、長期優良住宅・認定低炭素・ゼロエネ住宅の申請業務から設計、完了報告までトータルサポートを行い、安定的かつ継続的に支援する。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：未経験工務店に対して、プレカット事業者・設計士・工務店・事務局による仕様確認の打合せを行い、着工～完了まで円滑に進行させる	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 20	今年度の参加目標人数 10		○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 14	今年度の参加目標人数 6		◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：事務局からグループの施工構成員に省エネ技術講習会の日程をFAXにて案内する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	■ ない	□ ある →	内容：	
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			スマートハウスを導入した住宅等を見学等できる機会があれば、会員の技術や知識等向上のためグループにて研修会を開催する。			○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

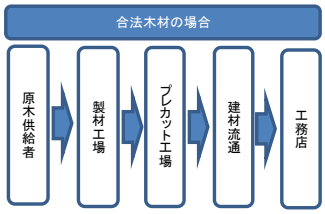
＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）『安心・快適』を見守る岡山の家	（地域型住宅供給対象地域）岡山県・岡山県に隣接する県	
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）おかやま『安心・快適』住宅研究会	（結成年）2016 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	--		

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①	地域材利用に関する共通ルール（必須）	●使用する地域材は、合法木材証明制度による合法木材（国内・国外）を使用する。 ●地域材は、主要構造材（柱・梁・桁・土台）（2×4工法の場合は、縦枠、上下枠・床根太、端根太・頭つなぎ・土台）と間柱・筋交に使用する。ただし、2×4工法の場合は「グループ募集要領 別紙4」のとおり読み替える。 ●主要構造材（柱・梁・桁・土台）は地域材を50%以上使用する。 ●間柱・筋交に関しては、グループ全体として地域材を積極的に使用する。	◎
	②	地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③	標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1	地域材在庫把握の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	①-2	地域材価格の共有の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	②	グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：2か月に1回施工会社へ進捗調査をすることで需給予測を図る。	○
c	①-1	畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：施工事業者は、施主に、畳の活用を奨励する。畳が採用された場合は、国内産の「い草」を畳表に使用したものを推奨する	○
	①-2	和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3	襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：施工事業者は、施主に、襖の活用を奨励する。襖が採用された場合は、国内産の和紙を使用したものを推奨する	○
	①-4	障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：施工事業者は、施主に、障子の活用を奨励する。障子が採用された場合は、国内産の和紙を使用したものを推奨する	○
	②-1	その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：①備前焼の置物（花瓶や小物など用途を問わない）、②デニム（カーテン、のれん、テーブルマット）、③岡山県内に工房を構える手造り家具（大きさ、用途を問わない）のうち、1点以上を設置する	◎
	②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	①	地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：職人技術を活かし技術の継承を推進していくため、極力、地元の大工等の職人による家づくりをする。	○
	②	地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域型住宅の引渡し時、「住宅の点検と補修」（住宅リフォーム・紛争処理支援センター）テキストを用い、施主にメンテナンス項目（内容と期間、役割）の確認を行う（住まいの管理の重要性を訴求する）（前出）。 また、適切な換気手法等による、結露の軽減や、室内の空気質の改善（カビ、ダニの発生を抑える）等、日常の“住まい方”で変えられる暮らしの知恵や、住宅の寿命についても伝える（継承する）	○
	③	地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：外構を計画する場合は、オープン外構を心掛け、樹木を植え、地域の景観に配慮する。	○
	④	和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：施工事業者は、施主に、畳、和瓦、襖、障子の活用（前出）と、地域の伝統建築（素材や意匠）、伝統的なデザインの継承を目的に、和室の採用（和の住まい）を推奨する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	復興支援の取組みとして、東北地方の内装材（巾木、腰板等）の使用を推奨する	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	復興支援の取組みとして、熊本地方の建材等の使用を推奨する	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）『安心・快適』を見守る岡山の家	（地域型住宅供給対象地域）岡山県・岡山県に隣接する県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）おかやま『安心・快適』住宅研究会	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	－－	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

■「安心・快適」を見守る岡山の家

・地域材（合法木材）の多用を前提に、地域の気候・風土等に根差した仕様（デザイン）、高度な技術力を備えた構成員による施工を、グループで支援。
グループ事務局が管理することで、高品質な地域型住宅を施主に提供する。

・住宅の長寿命化に資する取組みとして、引渡し後のメンテナンスを確実に実施する。
＊建設資材に限らず地域で生産される商品をできる限り採用し、地域経済に貢献する「地域型住宅」を創りだす

高い省エネルギー性能
○ ゼロ・エネルギー住宅では、４地域、５地域、６地域において外皮平均熱貫流率（UA値）を0.60W／m2・K以下とする。
※希望する施工構成者には、ランクアップ外皮平均熱貫流率の基準をクリアできるように仕様づくりのサポートを行う。
また、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）において、“ゼロエネ相当”を取得する（住宅・第三者認証）
○ 認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅においてはBELS★★★以上を取得する

※イメージ

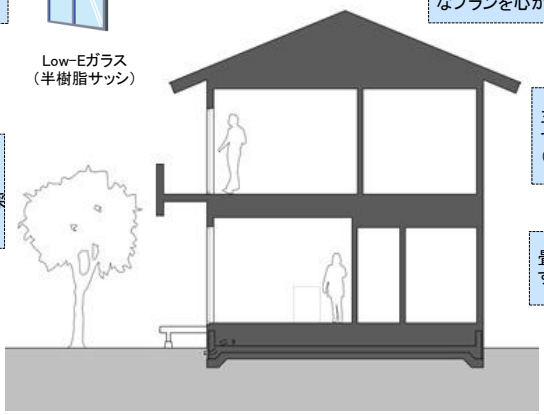
POINT

居室の開口部にLow-Eガラス（半樹脂サッシ）を推奨する

Low-Eガラス
（半樹脂サッシ）

POINT

パッシブデザインの導入
全ての居室で風の通り道を1方向以上確保できるようなプランを心がける



主要構造材（柱、土台、梁桁）について、「合法木材」を使用する
（国産材を推奨する）

給湯機は高効率給湯器を採用する。
また、災害時に飲み水として転用が効く「エコキュート」または「ハイブリッド給湯器」の採用を推奨する

畳、湿式壁、襖、障子の活用を奨励する（国内産を推奨する）

○ HEMSを設置する（共通ルール）
○施主の同意が得られれば、温湿度センサーを3カ所設置する（共通目標）

※「住宅省エネルギー講習会」を受講した修了者が施工に関与する

地盤調査について、「スウェーデン式サウンディング試験」、又は、「同等の精度を持つ調査（表面波〈レイリー波〉探査法等）」を行うこととする

・長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の施工実績が無い工務店には、設計サポート、施工サポートを行い、実施可能な施工体制の確立を目指す。

・一次エネルギー消費量計算とＨＥＭＳのデータ（エネルギー+温湿度）の蓄積・比較を行い、エネジーベネフィット、ノンエネジーベネフィツトを踏まえた施主提案が行えるようにする。

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。